

第3章 市民意向の把握

本計画を作成(及び津山市都市計画マスタープランの見直し)するにあたり、市民の皆様とともにまちづくりの将来像を描き快適な都市づくりを推進させるため、地域の実状をよく知る市民の皆様の‘まちづくりに対する意向’に関するアンケート調査を実施しました。本計画に関連する内容を確認し、問題点や課題、基本方針および施策設定などの参考とします。

(1) 調査概要

調査対象：18歳以上の市民 3,000人

実施期間：平成30年(2018)3月～平成30年(2018)4月

調査方法：郵送法による自記式無記名の調査票を用いたアンケート調査

回収数：回答者 1,022人 回収率 34.1%

(2) 主な意見

～問題や懸念～

- ・市全体としては、空き家や未利用地の増加、インフラ等の生活基盤整備の遅れ、商業施設の閉鎖・撤退などを心配する意見が多く挙げられています。
- ・地域別にみると、中心部では、空き家や未利用地の増加、商業施設の閉鎖・撤退の割合が特に多く、郊外部では、これらに加えインフラ等の生活基盤整備の遅れなども多くなっています。
- ・今後の人口減少や少子高齢化の進行により、社会保障費などの負担増加、公共交通利便性の低下、商業機能の撤退などの生活利便性低下を心配する意見が多く挙げられています。

～今後のまちづくり～

- ・今後のまちづくりについては、中心市街地を核としてメリハリのある整備を求める意見がある一方で、地域間格差のない整備を求める意見も多く挙げられています。
- ・高齢者や障害者、子育て世代が安心して生活できるまちの実現に対する意見が多く挙げられています。
- ・日常生活に必要な施設としては、医療施設、商業施設、金融施設などが上位に挙げられています。
- ・中心部に欠かせない施設としては、大型の商業施設や飲食店、食料品・日用品店舗、総合病院が上位に挙げられています。
- ・住宅地においては、空き家の利活用や、高齢者や障害者への配慮を求める意見が多く挙げられています。
- ・商業地においては、住宅地等に日常的に利用する商店の立地、商業施設等の集積による中心市街地の活性化、幹線道路沿いに利便性の高い商業施設の立地を求める意見が多く挙げられています。

～災害対策～

- ・災害への備えについては、避難地・避難路、防災施設の整備などのハード整備とともに、情報提供の充実などのソフト整備を求める意見も挙げられています。

～アンケート調査結果(抜粋)～

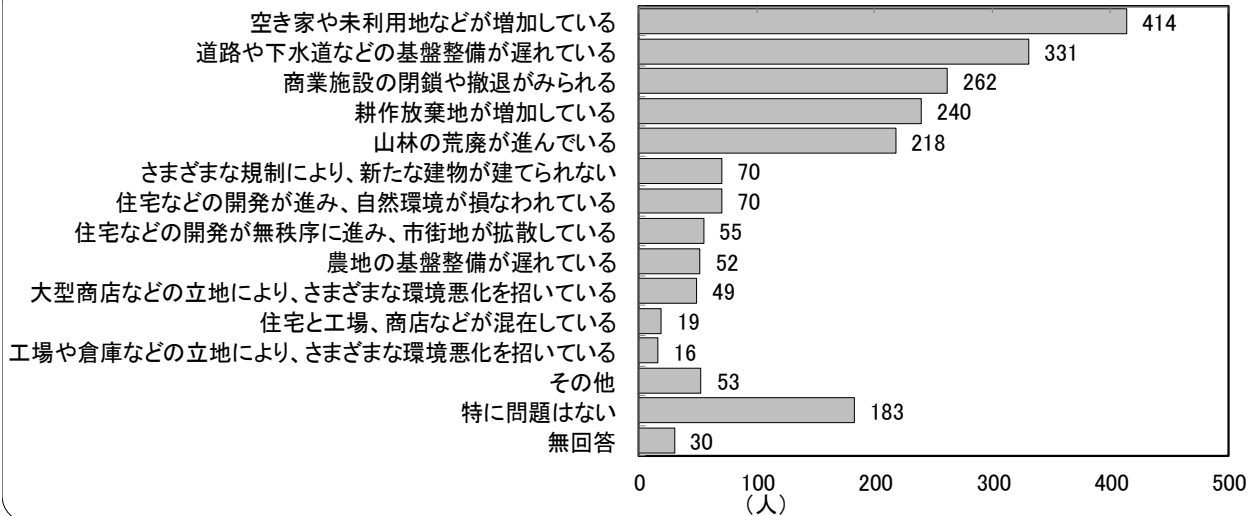
複数回答の設問については、割合の分母を有効回答数としていることから、割合の合計は100%を超過します。

① 居住する地域について ※複数回答の設問

■お住まいの地域の現在の土地利用において、特にどのようなことが問題だと思いませんか。

～市全体の集計結果～

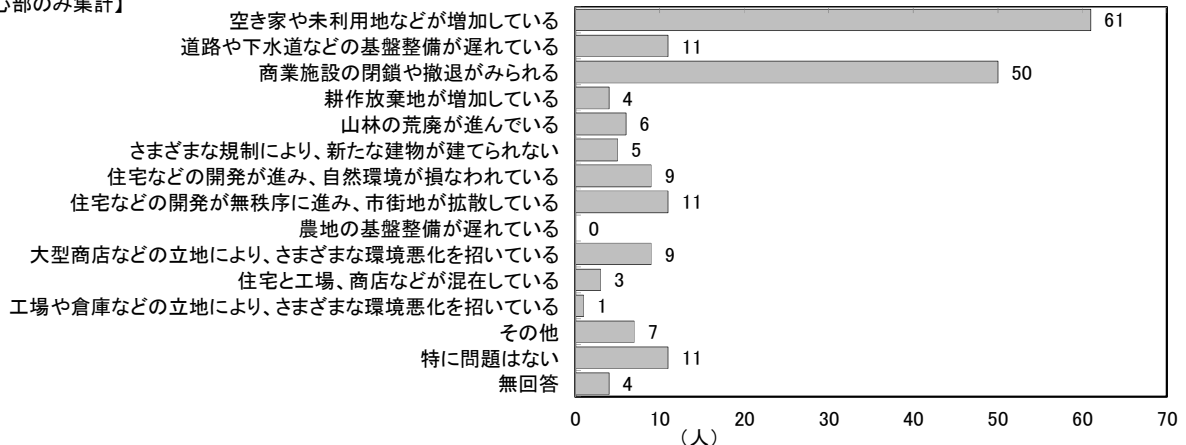
- 1位 空き家や未利用地などが増加している(40.5%)
 2位 道路や下水道などの基盤整備が遅れている(32.4%)
 3位 商業施設の閉鎖や撤退がみられる(25.6%)



～中心部の集計結果～

- 1位 空き家や未利用地などが増加している(64.9%)
 2位 商業施設の閉鎖や撤退がみられる(53.2%)
 3位 道路や下水道などの基盤整備が遅れている(11.7%)
 住宅等の開発が無秩序に進み、市街地が拡散している(11.7%)
 特に問題はない(11.7%)

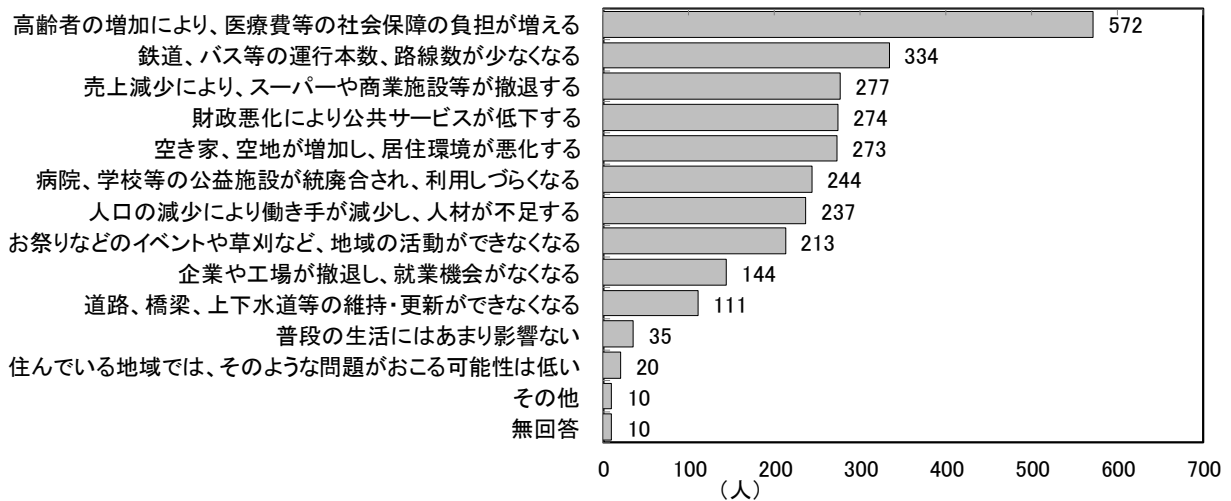
【中心部のみ集計】



② 人口減少・少子高齢化による普段の生活の関係する課題について ※複数回答の設問

■ 今後、市内の人口減少・少子高齢化がさらに進行した場合、あなたの普段の生活に大きく関係する問題はどれだと思いますか。

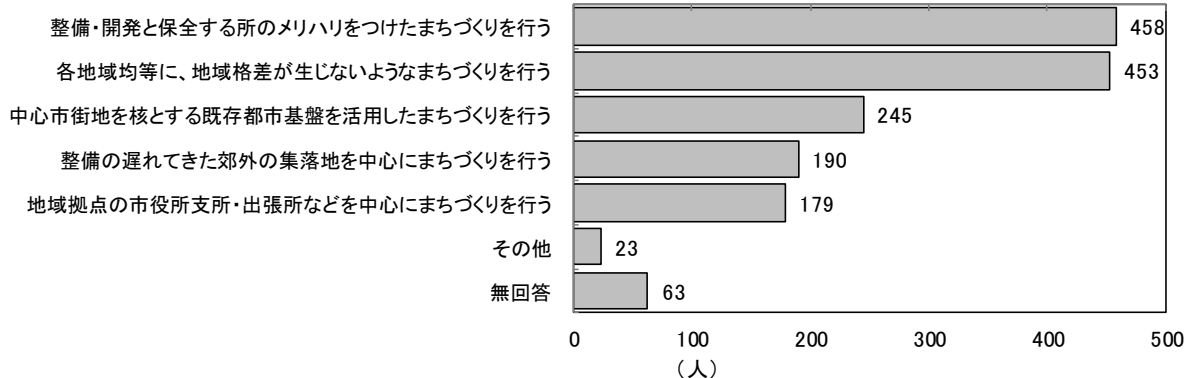
- 1位 高齢者の増加により、医療費等の社会保障の負担が増える(56.0%)
 2位 鉄道、バス等の運行本数、路線数が少なくなる(32.7%)
 3位 売上減少により、スーパーや商業施設等が撤退する(27.1%)
 財政悪化により公共サービスが低下する(26.8%)
 空き家、空地が増加し、居住環境が悪化する(26.7%)



③ 今後の市全体のまちづくりについて ※複数回答の設問

■ 近年、人口減少・少子高齢化の進展や環境の保護、公共投資負担の軽減等の観点から、既存ストックの活用による「コンパクトなまちづくり」が、全国的に求められています。これらの現状を踏まえ、今後の市全体のまちづくりについて、どのように思いますか。

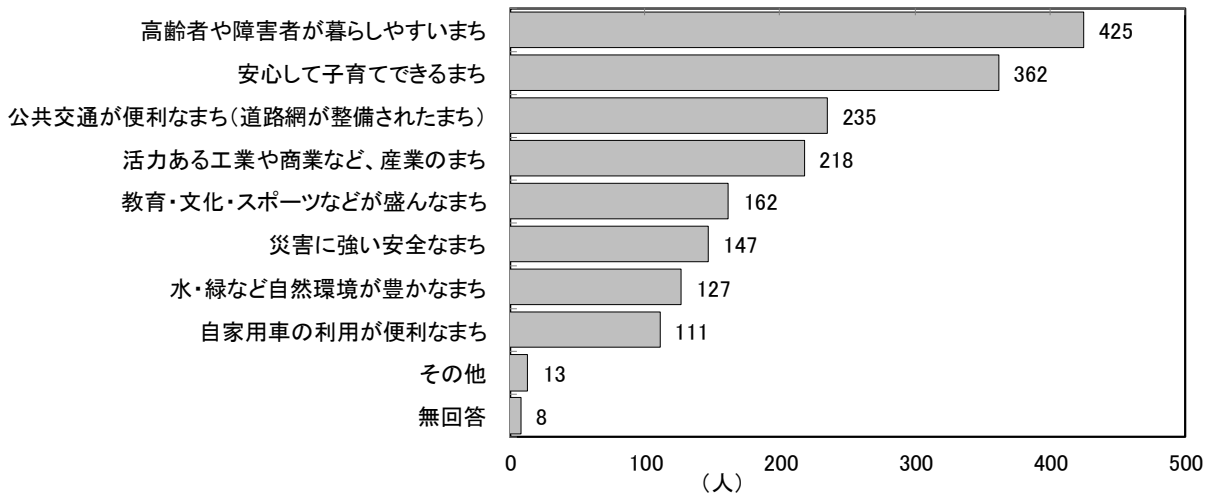
- 1位 整備・開発する所と保全する所のメリハリをつけたまちづくりを行う(44.8%)
 2位 各地域とも均等に整備を行い、地域格差が生じないようなまちづくりを行う(44.3%)
 3位 中心市街地を核とする既存都市基盤を活用したまちづくりを行う(24.0%)



④ 津山市の将来像について ※複数回答の設問

■あなたは、津山市が将来どのようなまちになったらよいと思いますか。

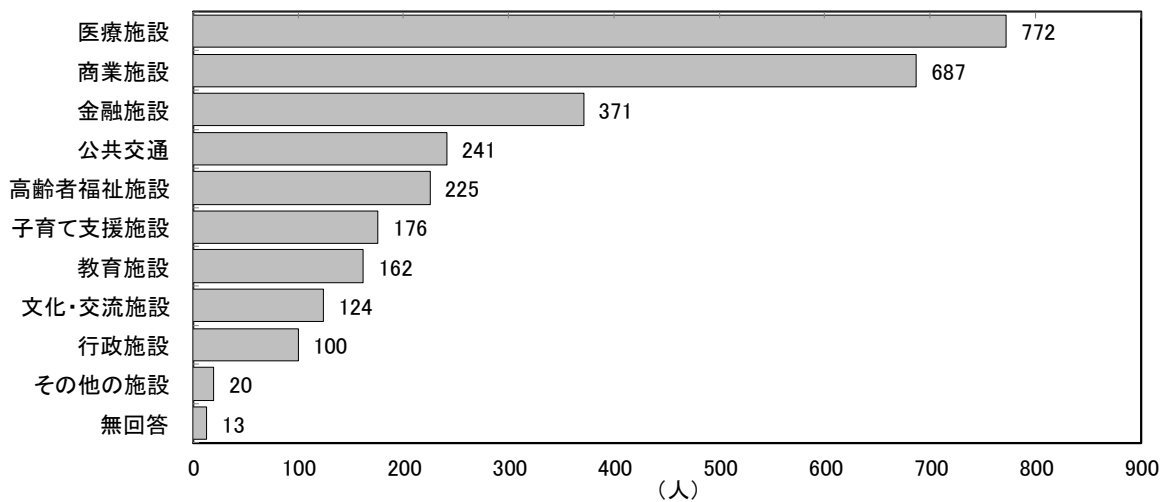
- 1位 高齢者や障害者が暮らしやすいまち(41.6%)
 2位 安心して子育てできるまち(35.4%)
 3位 公共交通が便利なまち(道路網が整備されたまち)(23.0%)



⑤ 日常生活に必要な機能について ※複数回答の設問

■あなたが日常生活に必要なと思う施設は何ですか。

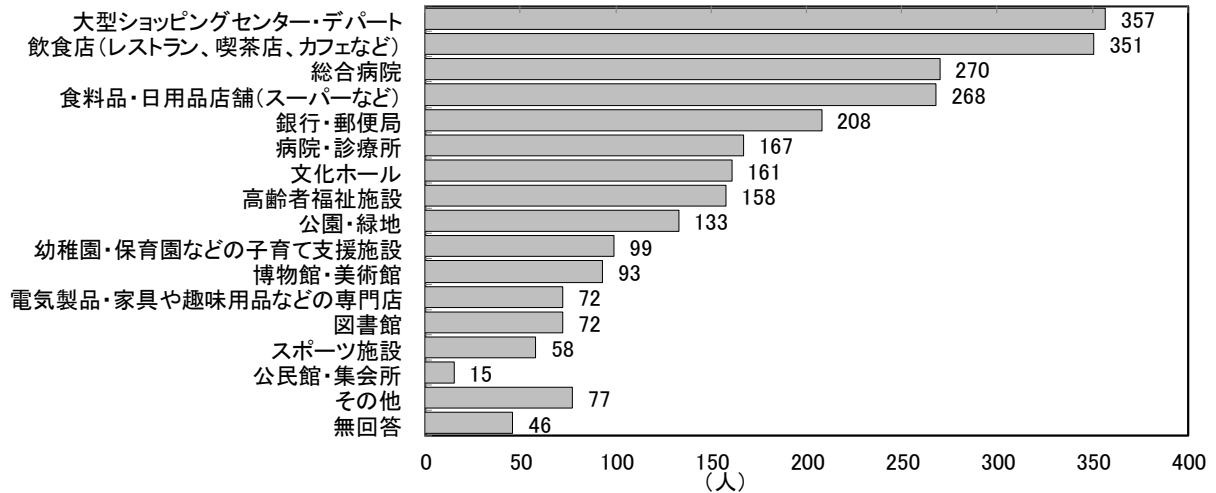
- 1位 医療施設(75.5%)
 2位 商業施設(67.2%)
 3位 金融施設(36.3%)



⑥ 中心部に欠かせない施設について ※複数回答の設問

■ 駅周辺など、市全体の拠点となる地区(中心部)に欠かせないと思う施設は何ですか。

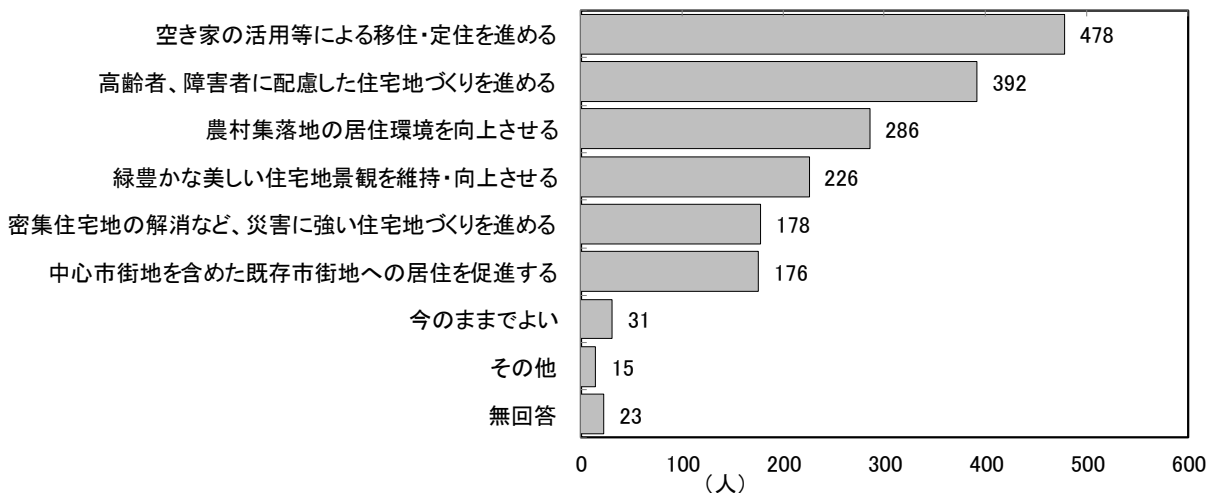
- 1位 大型ショッピングセンター・デパート(34.9%)
 2位 飲食店(レストラン、喫茶店、カフェなど)(34.3%)
 3位 総合病院(26.4%)
 食料品・日用品店舗(スーパーなど)(26.2%)



⑦ これからの住宅地について ※複数回答の設問

■ これからの住宅地について、どのようなことが必要とお考えですか。

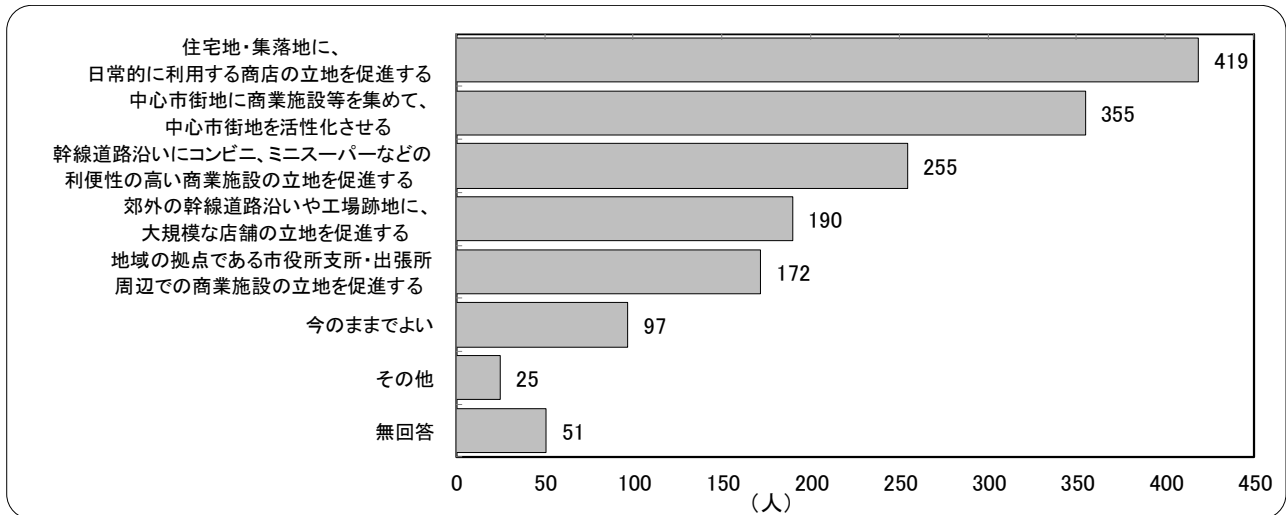
- 1位 空き家の活用等による移住・定住を進める(46.8%)
 2位 高齢者、障害者に配慮した住宅地づくりを進める(38.4%)
 3位 農村集落地の居住環境を向上させる(28.0%)



⑧ これからの商業地について ※複数回答の設問

■これからの商業系用地について、どのようなことが必要とお考えですか。

- 1位 住宅地・集落地に、日常的に利用する商店の立地を促進する(41.0%)
 2位 中心市街地に商業施設等を集めて、中心市街地(商店街)を活性化させる(34.7%)
 3位 幹線道路沿いにコンビニエンスストア、ミニスーパーなどの利便性の高い商業施設の立地を促進する(25.0%)



⑨ 災害への備えについて ※複数回答の設問

■大地震や台風・大雨による風水害・火災等、災害に強いまちづくりが求められています。お住まいの地域において、これらの災害に対する備えとしてどのようなことをしておけばよいと思いますか。

- 1位 避難地・避難路の整備(45.1%)
 2位 防災施設(備蓄倉庫、防火水槽・消火栓等)の整備(35.8%)
 3位 防災情報提供の充実(34.2%)

